

第44回特別企画展

平戸藩の名刀展

開催のお知らせ

壱岐市立 一支国博物館

一支国博物館では、来る平成30年12月14日（金）から平成31年2月11日（月祝）まで、第44回特別企画展「平戸藩の名刀展」を開催する運びとなりました。

本企画展では、平戸藩刀工、初代・土肥真了（どいしんりょう）の刀を中心に、平戸藩にまつわる刀剣と刀装具（平戸国重作）などを展示します。壱岐の郷土刀も併せて展示し、平戸藩刀工と壱岐の係わりも紹介いたします。当館では初めて開催する刀剣展覧会となります。

つきましては、ご多忙中とは存じますが、お誘い合わせの上、ご観覧くださいますようお願い致します。

記

催 事：第44回特別企画展「平戸藩の名刀展」

会 期：平成30年12月14日（金）～平成31年2月11日（月祝）

場 所：一支国博物館 1階 テーマ展示室

時 間：午前8時45分～午後5時30分（最終入館 午後5時）

休館日：毎週月曜日（月曜日が祝日の場合は翌火曜日）、12月29日～31日

展示品数：約30点

観覧料：無料

主 催：壱岐市立一支国博物館

協 力：平戸市振興公社 平戸城、長崎歴史文化博物館、松浦史料博物館

後 援：壱岐市、壱岐市教育委員会、長崎県埋蔵文化財センター、壱岐市観光連盟

※次の内容につきましては、別添資料をご確認ください。

◆主な展示資料 ◆関連講座

壱岐 iki ひとくちメモ

常設展示室 展示替えのお知らせ 【亀ト（きぼく）】



壱岐島最北端に位置する串山ミルメ浦遺跡出土。亀の甲羅を占いに用いられたとされています。古代の文献『延喜式』には、「壱岐・対馬・伊豆から有能な卜部（うらべ）を朝廷に迎えた」と記載されており、亀トを得意とする壱岐の卜部が中央政権に派遣されたことを物語る貴重な資料です。展示期間：本日（12月1日）～平成31年2月28日 展示場所：当館 常設展示室

このリリースに関するお問い合わせ

※配信停止などご要望がございましたら、お手数をお掛けしますが、下記メールアドレスまでお知らせ下さい。

壱岐市立一支国博物館

担当：広報営業 松嶋

〒811-5322

長崎県壱岐市芦辺町深江鶴亀触 515 番地 1

TEL：0920-45-2731 FAX：0920-45-2749

m.matsushima@iki-haku.jp

<http://www.iki-haku.jp/>

主な展示資料



脇差拵／刀身は松浦静山公自作の短刀
(長崎歴史文化博物館)

〔土肥真了(どいしんりょう)〕

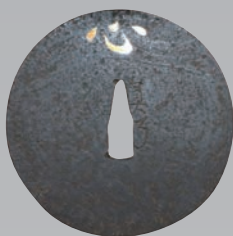
肥前平戸の刀工 土肥正則の子。延宝八年(1680)大阪に出て、井上真改に入門。天和二年(1682)、平戸へ帰る。刀の切味を示す『懐宝剣尺』に、二代 土肥真了が業物として記載される。



上／打刀 三代 土肥真了
下／脇差 初代 土肥真了
(ともに平戸城)



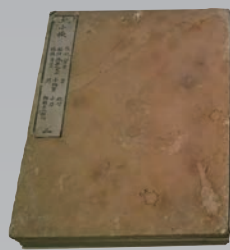
1



2



3



4

- 1／雲龍鏢 平戸明珍宗秋 (平戸城)
- 2／鏢 土肥真了 (平戸城)
- 3／鏢 土肥真了 (平戸城)
- 4／大小帳 (松浦史料博物館)

関連講座

場所：3階 多目的ホール 受講料：無料 定員：180名

◆特別講座

「博物館における刀剣の展示と取り扱い(仮題)」
日時：12月16日(日) 14:00～
講師：望月 規史氏(九州国立博物館 企画課 研究員)

九州国立博物館所蔵の刀剣をいくつか例にとり、画像で紹介します。また、展示方法の実演も交え、博物館における刀剣の展示やその意義、あり方などについて解説します。



◆壱岐学講座

「壱岐の郷土刀」
日時：平成31年1月13日(日) 14:00～
講師：須藤 正人(当館 館長)

小さな島国・壱岐に刀工がいたとは。なぜ壱岐島に定住し、刀を作ったのか。それは、日本歴史と世界史の接点となってゆく壱岐島の特殊性を物語ることになる。そして、特別企画展に登場する平戸藩刀工・土肥真了と壱岐の郷土刀工たちは、どのような関係にあったのか。

